

Title	教育・授業へのICTの活用の推進を目的とした教員用webサービスの提案
Sub Title	Suggestion of the web service for teachers to promote ICT education
Author	石井, 杏奈(Ishii, Anna) 中村, 伊知哉(Nakamura, Ichiya)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2013
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2013年度メディアデザイン学 第293号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002013-0293

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2013年度(平成25年度)

教育・授業へのICTの活用の推進を目的とした
教員用webサービスの提案

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

石井 杏奈

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

石井 杏奈

審査委員:

中村 伊知哉 教授 (主査)

砂原 秀樹 教授 (副査)

南澤 孝太 准教授 (副査)

修士論文 2013 年度(平成 25 年度)

教育・授業への ICT の活用の推進を目的とした 教員用 web サービスの提案

カテゴリー: アクションリサーチ

論文要旨

「フューチャースクール」「学びのイノベーション」などの政府の支援事業の影響もあって、日本の教育に ICT を活用する動きは益々活発になってきている。しかしながら、平成 25 年度の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(文部科学省)」によると、学校の ICT 機器などの設備だけではなく、ICT の活用に対する教員の二極化も起きていると取れる。ICT 推進のための課題として、教員が ICT 活用授業を行う際に問題となっているのは「時間」、「コンテンツ」、「設備」、「教員リソース」の問題と、社団法人日本教育工学振興会と日本マイクロソフト株式会社の共同調査では述べられている。本論文では、ICT 推進のための課題解決として期待されている「画像・映像など、授業で使える素材がすぐに探せる仕組みがあれば」などの「コンテンツの問題」と、「指導する教員がもっといれば」などの「教員リソースの問題」に対して、教員同士で ICT を活用した授業に関する知見をシェアしたり、デジタルの副教材や資料を共有したりすることが出来るプラットフォームを作ることで、現状の課題の解決方法として提案できるのではないか。本論文は、実際に提案内容を実行し先行サービスと照らし合わせた結果を、ICT の教育や授業への活用を推進するための教員用 web サービスの提案として、その成果をまとめたものである。

キーワード:

ICT, 教育, 授業, ICT 支援員, デジタル教材

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科
石井 杏奈

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2013

Suggestion of the Web Service for Teachers to Promote ICT Education

Category: Action Research

Summary

Japanese ICT education becomes more and more active by an effect of the support project of the government such as the “feature school” and “innovation of the learning”. However, according to the investigation, bipolarization for the ICT education is taking place among a school and teachers. According to the investigation, to promote ICT education has some kind of problem, one is not enough of the contents for digital teaching materials and one is the teacher resource for ICT education. I tried to solve about two problems by the web service for teachers.

My suggestion is a platform of the web service, to share about knowledge for the ICT education between teachers and to share the digital teaching materials and document. Is that adequate for the solution about problem to promote ICT education? I produced that web service to review an efficacy, and compared it with precedent service. I got the result as suggestion of the web service to promote ICT education for teachers.

Keywords:

ICT, Education, Class, Member of ICT support , Digital teaching material

Graduate School of Media Design, Keio University

Anna Ishii